

会議の名称	令和5年度 第3回吉川市食育推進協議会
開催日時	令和5年11月21日(火) 午前9時00分から10時00分
開催場所	吉川市保健センター 母子保健指導室
出席委員(者)氏名	西村早苗委員(副会長)、田村芳之委員、下村悠太委員、川島久子委員、林晴彦委員(会長)、今岡由美委員、小倉滝子委員、北原真希栄養士
欠席委員(者)氏名	見村和明委員、飯田美奈委員、大塚江美委員
担当課職員氏名	健康増進課課長 互英久 健康増進課健康増進係栄養士 山菅総子
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 配布資料について 資料 第3次吉川市食育推進計画【素案 第2校】 4 パブリックコメントの実施予定について 5 第4回 吉川市食育推進協議会の開催日程について 6 閉 会 会議は公開
傍聴者の数	0人
会議資料の名称	第3次吉川市食育推進計画【素案 第2校】
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	川島久子委員、林晴彦委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
話者	発言内容
○議事	
会長	<p>初めに本日の会議の会議録署名人につきまして、私の方から指名させていただきます。</p> <p>本日は名簿順で前回会議の続きから、川島委員と私が務めさせていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>また本会議は会議傍聴要領に基づき公開とし、傍聴を認める者の人数を5名とすることを報告いたします。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>資料第3次吉川市食育推進計画【素案 第2校】について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>第3次吉川市食育推進計画【素案 第2校】について、赤字部分は前回会議でもご説明した第2次計画からの変更点ですので、黄色で網掛けしている【素案 第1校】からの変更点についてご説明いたします。</p> <p>はじめに、6頁下部の現状と課題について、会議の中で出たご意見ではありませんが、内部で表現が分かり辛いと考え、文言の修正をさせていただきます。</p> <p>第1校では、「新型コロナウイルス感染症により、健康意識の高い層が集中して受診した可能性も否定できないため、今後の経過を注視し、見極めていく必要があります。」という表現をしておりました。</p> <p>不要不急の外出を避けるよう指示があった中で、健康診断は不要不急に入らないと受け取る健康意識の高い方は継続して受診していただき、逆に健康診断を不要不急と受け取り受診を控えた方、健康意識の低い層と言うと語弊があるかもしれませんが、そういった方が多数いたことで受診者の総数が減り、その中で割合を算出したため、肥満者が減ったように見えた可能性を懸念しての表現でした。</p> <p>第1校の表現ではこの真意が伝わり辛いと考え、第2校の表現に修正しました。</p> <p>続いて、19頁下部、実践できるまちづくりの表現の中で、前回会議での食品ロスをどの基本目標に含めるかという議論を受け、「環境との調和を図る」という、現行計画の文言に再度修正し、同じく、次頁の体系図についても、「環境地域との調和」に再度修正しております。</p> <p>続きまして、22頁、基本目標1の「みんなでできること」について、前回いただいた意見をもとに、3つ目標を掲げました。</p> <p>続きまして、23頁、基本目標2の「四つのわ食」の順番について、前回会議でいただいたご意見をもとに、「環」以外の3つを現行計画と同じ順番に直し、最後に全体を調和させるように「環」を付け加えました。</p>

事務局	<p>みんなで楽しく食卓を囲むことで、豊かな心を育み、食におけるマナーや食文化、そして環境との調和について、継承していけるよう、情報提供して参ります。</p> <p>24頁には、基本目標2の「みんなでできること」を挙げてございます。</p> <p>続きまして25頁、基本目標3、主な取り組みの(1)について、先ほどの基本目標と同様に、「環境、地域との調和」という文言に変更し、食品ロスの項目をこちらに付け加えています。</p> <p>27頁について、基本目標3の「みんなでできること」を掲げています。</p> <p>28頁の目標達成のための指標につきましては、前回不明瞭とご指摘いただいたピクトグラムのサイズを大きくしました。そして、指標に掲げているもの以外のピクトグラムについても、引き続き取り組んでいくことを右下に記載してございます。</p> <p>それから、目標達成のための指標「豊かな心を育む」欄の「朝食または夕食を家族と一緒に食べる共食の回数の増加」について、令和5年度現状値が算出方法の異なる指標を参考値としており分かり辛いというご指摘を受け、「参考」という表記を追記しています。</p> <p>第2校にて変更した点は以上です。</p>
会長	<p>6頁の表現について、事務局からも補足がありましたが、「健康意識の低い層」という表現にやや抵抗を感じます。</p> <p>健診の受診を控えた方々が一概に健康意識が低いとは定義し難く、健康意識が高いことでコロナに危機感を抱き受診を避けたという考え方もできます。何か置き換えられる良い表現はあるでしょうか。</p>
副会長	<p>受診者の総数が減ったことは確実でしょうか。</p> <p>総数が減少しているのであれば、受診者に偏りが見られるため、例年と同じ条件で比較できないという表現もできるかと考えます。</p>
事務局	<p>この場で受診者数を明確にお伝え出来ませんが、受診者が減ったことは確実ですので、サンプル数が減ったために例年と比較できないという表現は明瞭であると感じます。</p>
事務局	<p>その結果が現状を表しているとは判断しにくい、比較できないというニュアンスが良いでしょうか。</p>
会長	<p>この新型コロナ禍でデータの比較がし辛くなったのは確かだと思われまますので、今後注視していく旨でまとめていただき、また第4次策定の機会には、比較できるデータが用意できると良いかと思います。</p>
会長	<p>24頁と27頁のコラムを入れ替えたのは、前回会議の意見をもとに内容を入れ替えたことによるものでしょうか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりです。</p>
副会長	<p>「みんなでできること」について、自治体を実施することと区別し1人1人の目標として整理されていますが、この内容は計画内のどこから引用されたものでしょうか。</p>

事務局	<p>前回会議で委員の皆様からいただいた内容や、事務局で補足した内容を基に設定しています。</p> <p>また、各基本目標に(1)～(3)の主な取り組みを掲げていますが、「みんなでできること」はその各取り組みからバランス良く抽出する事よりも、実践しやすいことを注視し、基本目標の大きなくくりの中で3つ抽出しております。</p> <p>例えば、基本目標 1 の「みんなでできること」でしたら、一つ目の「早寝・早起し、朝ごはんを食べるようにします。」というのが「(3)健全な生活リズムの形成」の「生涯を通じた早寝・早起き・朝ごはん運動の推進」に関連し、二つ目の「年に一度、健康診断を受けます。」は同じ(3)の「各種健康診査の受診率の向上」に該当します。</p> <p>このように市の取り組みと関連する部分はありますが、(3)に偏って抽出した訳でなく、基本目標である「健全なからだをつくる」に対して、簡単に取り組める事を三つ挙げたものです。</p>
副会長	<p>「みんなでできること」の活用方法について考えはありますか。</p>
事務局	<p>まずは、学校や保育所の指導教材とするよりも、計画を手にとった個人に活用いただくことを考えており、手に取りやすい計画の概要版や配布資料の作成を予定しております。</p> <p>補足いたしますが、役所の作る計画というと、行政が実施することの羅列になりがちであると思います。</p> <p>そこで、吉川市の総合振興計画では「自分でできることもあるのだな」「このようにすれば良いのだな」と思えるような「みんなでできること」を掲載して周知・啓発しており、本計画も、市民の皆様計画を身近に感じていただこうと、それに倣って作成いたしました。</p>
副会長	<p>文末が、「私は～します。」という言い回しのため、主観が誰なのか分かり辛く感じました。かといって「～しましょう。」だと市の狙いから逸れる事も理解できます。</p> <p>個人が主体という意図で間違いありませんか。</p>
事務局	<p>副会長の仰る通りでして、総合振興計画の中でも「～します。」「～するよう努めます。」という表現で統一されています。</p>
副会長	<p>この目標設定によって、例えば「早寝早起きします」という目標を受けて、実際に早寝早起きする市民が増加した場合、それを今回の目標設定の効果として評価する予定はありますか。</p>
事務局	<p>市が早寝早起きのメリットについて周知に努めることで、市民個人に行動変容があれば、次期計画策定の際のアンケート結果を確認したいと思います。結果、上昇が見られれば、この「みんなでできること」設定の効果と受け止めたいと考えます。</p>
副会長	<p>効果検証の際には、アンケートの設問に”「みんなでできること」を受け、実践に結び付いたか”という内容を組み込むことで、より焦点を絞った効果が確認でき、改善にも繋がるかと思えます。</p> <p>また、イベント等の市の取り組みを実施する際、参加者から「みんなでできること」の認知度や行動変容の有無を聴取することで、次期計画策定までに進捗確認ができ、策定の資料にすることが可能です。計画策定時の大規模なアンケートを待たずとも、身近なところからフィードバックが得られます。</p>

事務局	ぜひ参考にさせていただきます。
会長	<p>今、私達は計画の作成に携わっていますが、“計画を立てて終わり”にならないようにしなくてはなりません。</p> <p>実際に早寝早起き朝ごはんに関しても、小・中学校ではスローガンのように掲げ、子ども達も言い慣れています。</p> <p>それを今後、全市民に広げていくことを市の取り組みの目標にしていますので、実際にどのように取り組むか、これから考えなくてはなりません。</p> <p>市の取り組みを受けて、市民の方が改善を心がけ、早寝早起きし朝ごはんを食べる方が増えてくれば、この計画が非常に意義のあるものになると思います。</p> <p>計画の作成ももちろん真剣に取り組んで参りましたが、その後、“立てて終わり”にならないように努める事が大切かと思えます。</p> <p>「みんなでできること」については、市民個人が自分でできることという意味合いでしょうから、市の取り組みとは離れているのですね。</p> <p>先ほど副会長からご指摘いただいたように、様々な場面でアンケートを取る等、策定したこの計画が推進できているかを確認しながら、次に活かせれば、私達も計画を立てた意味が出てくることと思えます。</p>
委員	会長、副会長のご意見にもありました通り、計画のための資料でなく、実際に実践してどうだったか、PDCAサイクルを回し、今後活かしていけるよう取り組めると良いと感じました。
委員	前回会議でご提案した内容を、27頁の「みんなでできること」に取り入れていただき、ありがたく思います。
委員	「みんなでできること」を読んでもみると、簡単なようで簡単ではない、と思いつつも、頑張りたいと思いました。
事務局	参考に、どのような所が簡単でないと感じるか、お聞かせください。
委員	食品ロスを減らそうと思っても、つい多めに食材を買ってしまい、冷蔵庫の中で無駄にってしまう事が多々あります。今後、気を付けていこうと思います。
委員	昔市役所から、生ごみを圧縮する機械の購入費用を補助する案内があったと記憶しています。広報に毎月掲載される訳では無く、また広報の記載では内容がよく分からず、より詳しく広報して頂きたいです。
会長	ごみを減らそうと思い立ち、いざ調べようと思った時に、適切に情報提供がされていると良いということですね。
事務局	おそらく、生ごみ処理機、生ゴミ処理容器購入補助という市の環境課の取り組みかと思われます。年1回広報で紹介される他、市ホームページに掲載がありますが、その内容がわかりにくく感じるということでしょうか。
委員	“何%補助”というのが実際にいくらなのか自分では分からず、また購入できるお店を調べる手立てが無いので、支援をいただきたいと感じました。
事務局	広報やホームページには担当課の連絡先が載っていますので、お電話でご相談いただくと詳しい説明が聞けるとおもわれます。広報への記載の方法についても、分かりにくいというご意見があった旨は担当課と共有させていただきます。

